

東日本大震災の記録

～震災対応と復興に向けて～

東日本大震災の記録

～震災対応と復興に向けて～



2011
3.11

宮城県登米市



宮城県登米市

東日本大震災の記録

～震災対応と復興に向けて～



刊行にあたって



登米市長

布施 孝尚

Takahisa Fuse

東日本大震災から3年が経過いたしました。この震災により犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族並びに被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

発災から今日まで、一日も早い復旧と復興が成されるよう、市として全力で取り組んでまいりました。皆様から賜りました多大なるご支援ご協力に深く敬意を表し、心から感謝申し上げます。

本市においても、全域で激しい揺れに襲われ、甚大な被害が生じました。その中で、市民一人ひとりが冷静に行動し、大きな混乱もなく乗り越えることができたのは、地域における「共助」が成されたからであると感じております。これまで市では、地域を主体とした防災力向上を目指し、自主防災組織の育成に取り組んでまいりました。本災害において、その効果が発揮されたことに、あらためて市民の皆様にご感謝申し上げます。

いまだ復興は途中にあり、さらに福島第一原子力発電所事故が、さまざまな形で市民生活や農業などの産業に大きな影響を与え続けています。また、登米市ならず被災地全体でも復興が進まない状況が見受けられます。市としても迅速な復興に向け対応に努めていくとともに、津波により甚大な被害を被った沿岸部地域へ、隣接市としてできる限りの支援を続けてまいりたいと思っております。

本誌は、被災状況や災害対応、復旧と復興へ向けた取り組みの記録を後世に語り継ぐため、市民の証言や市職員の記録メモ、関係諸団体から提供いただいた写真などを用い編集しました。本誌で紹介するさまざまな活動や経験談が、地域における防災対策の一助となれば幸いです。

今回の震災が本市に及ぼした影響は多大であり、完全な復興への道のりは長く決して平坦なものではありません。しかし、市民の「安全・安心」と「夢・大地 みんなが愛する水の里」の実現を目指し、皆様と共に全力で取り組んでまいりますので、これからもご支援とご協力をお願いいたします。

平成26年3月

目次

宮城県登米市
「東日本大震災の記録」

第1章／東日本大震災の概要

第1節 東日本大震災の被害概要	09
第2節 登米市の被害概要	10
第3節 行政関係の被害	11

第2章／災害対応活動

第1節 初動対応	25
第2節 情報発信	30
第3節 避難所	33
第4節 震災ごみの対応	37
第5節 関係機関や団体の活動	39

第3章／応援・支援活動

第1節 被災者支援	51
第2節 沿岸地域への支援	61

第4章／原子力発電所事故への対応

第1節 空間放射線量の測定	73
第2節 教育施設への対応	74
第3節 農作物等への影響	75
第4節 原子力防災対策	77

第5章／大震災の検証と今後の取り組み

第1節 大震災の検証	79
第2節 災害時応援協定	82
第3節 自主防災組織の育成	83
第4節 再生可能エネルギー導入	85

第6章／大震災を振り返って

86

資料編

108





